

## 数値等の算出方法(例)

(1) 重要給水施設を位置づけている計画 及び 施設分類  
(略)

(2) 重要給水施設箇所数 (参考図 1)

(a)～(f)より 6 箇所

(3) 管路の耐震適合性を有する重要給水施設箇所数

・ 導水管、送水管、配水本管並びに(a), (b), (c), (d), (e)の 5 箇所の重要給水施設配水支管は耐震適合性があるが、(f)の重要給水施設配水支管の耐震適合性がない場合(参考図 1)

→5 箇所

・ 導水管、送水管及び配水池から(e)の分岐部分までの配水本管並びに(a), (b), (d), (e)の重要給水施設配水支管は耐震適合性があるが、(e)の分岐部分～(f)の分岐部分間の配水本管の耐震適合性がない場合(参考図 2)

→4 箇所

・ 配水本管並びに(a), (b), (c), (d), (e)の 5 箇所の重要給水施設に供給する配水支管は耐震適合性があるが、導水管、送水管のいずれかが耐震適合性がない場合(参考図 3)

→5 箇所…配水池から重要給水施設までの場合(ケース a)

→0 箇所…導送水管路も含めた場合(ケース b)

(4) 重要給水施設管路 (重要給水施設に至る管路延長)

・ 導水管、送水管、配水本管、配水支管の管路 (延長)。(参考図 3 重要給水施設管路)

(5) 重要給水施設耐震管路 (重要給水施設管路のうち、耐震化済みの延長)

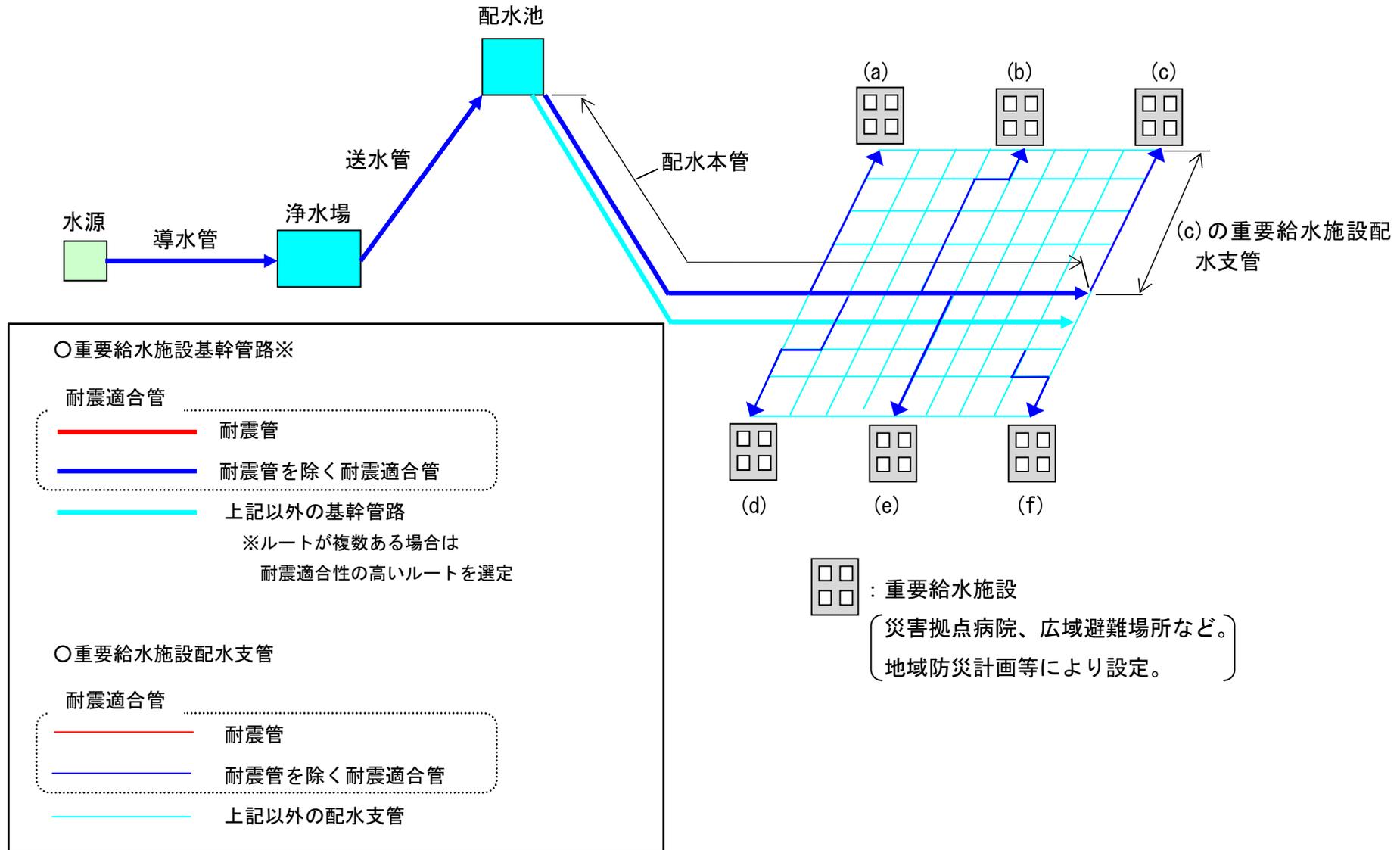
・ (3)のうち、耐震化済みの管路 (延長) (参考図 3 重要給水施設耐震基幹管路及び配水支管)

(6) 重要給水施設耐震適合管路 (重要給水施設管路のうち、耐震適合性のある延長)

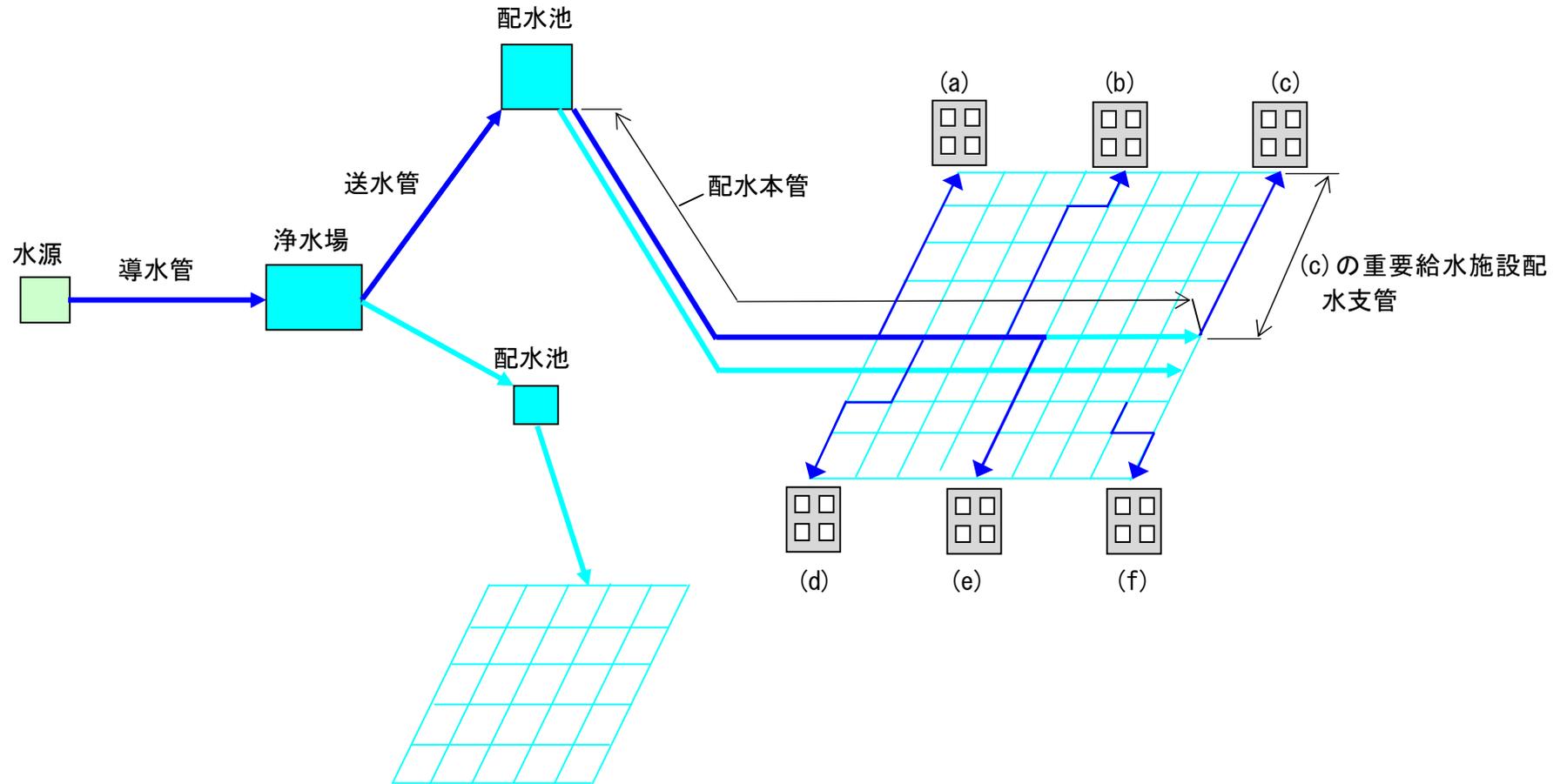
・ (3)のうち、耐震適合性のある管路 (延長) (参考図 3 重要給水施設耐震適合基幹管路及び配水支管)

※配水支管における耐震適合性の考え方は基幹管路に準じる。

## 数値算出方法（参考図 1）



## 数値算出方法（参考図2）



※重要給水施設がない場合は計上しない

### 数值算出方法（参考图3）

